

○「普賢寺地区連絡会の設立に向け」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第8回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年4月10日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員5人、京田辺市:伊藤主査、山本主事、山城北普及センター:寺岸副主査、農業会議:多田課長
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 普賢寺地区の区長と農家組合長に地区代表を選出するよう依頼する。
- 設立総会には、京田辺市農政課長及び農業委員会事務局長あてに案内を出す。
- 5月28日の午後7時30分から普賢寺公民館において、地区代表を交え、設立総会を開催し、会の運営、役員、体制、規約等を協議、決定する。
- 5月21日の午後7時から普賢寺ふれあいの駅で設立総会に向け、地区連絡会を開催する。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援